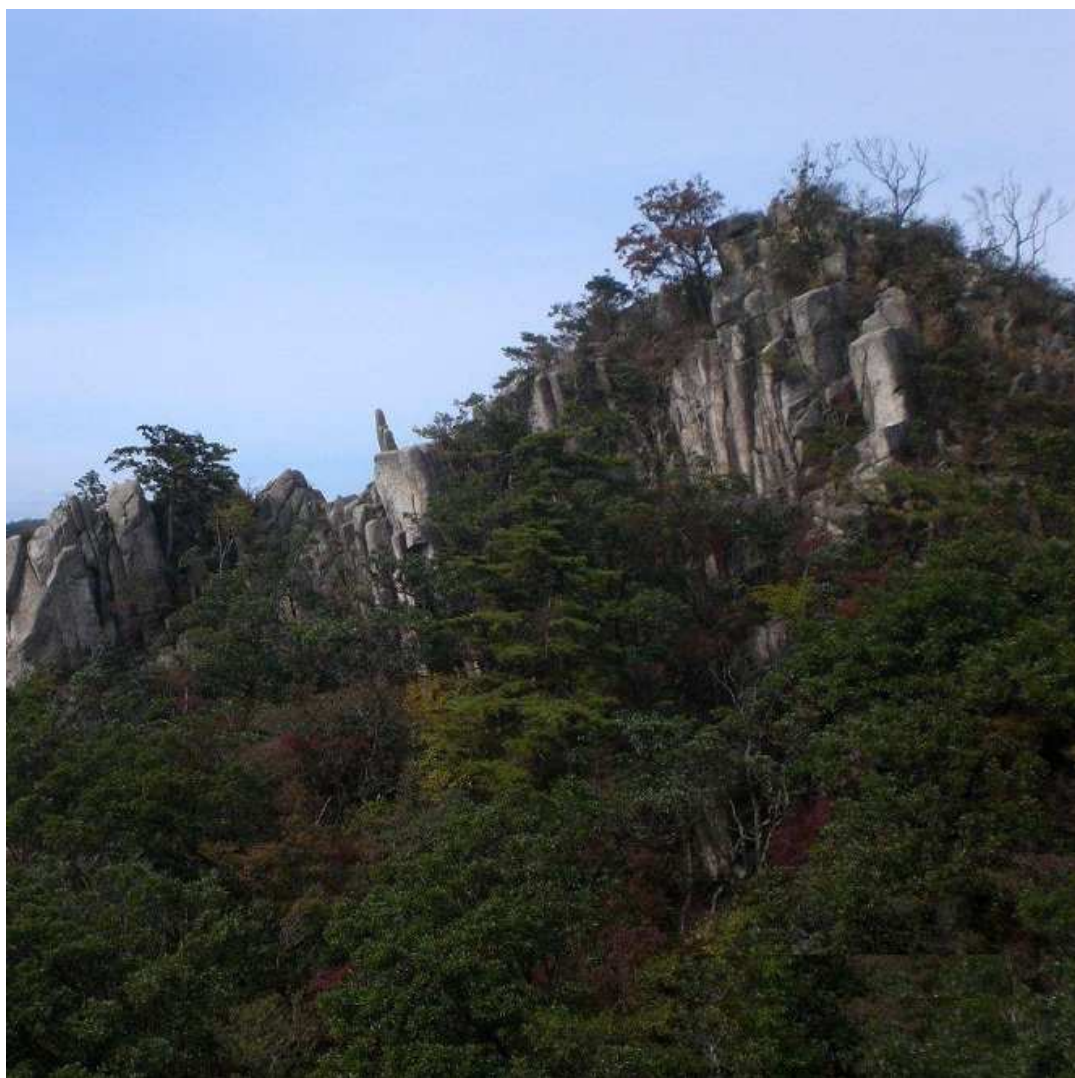


西大和つうしん

2012年 12月号

No. 366



鈴鹿仙ヶ岳、南尾根コースから11月4日・自主山行

奈良県勤労者山岳連盟
西大和山の会

西大和つうしん

第366号(2012年12月号)

【目次】

12月度山行計画.....	1
12月度・1月度カレンダー.....	2
山行・行事等参加メモ.....	3
山行報告	
自主山行 《11月4日》 鈴鹿の山 仙ヶ岳(亀高).....	4
自主山行 《11月23日》 台高の山 高見山北尾根(藤本).....	6
室内例会だより.....	8

12月度山行計画

～高畑山で360度の展望を楽しみましょう～

◆12月2日(日): 例会山行1

◆鈴鹿の山《高畑山～那須ヶ原山》(L: 田中悦 / 緊急連絡先: 都築)

【集合】07:00 上牧町役場前駐車場

【コース】鈴鹿峠～(60min)～ナイフリッジ～(30)～高畑山～(30)～溝干山～(15)～坂下峠
～(40)～唐木山～(60)～那須ヶ原山～(45)～参詣橋 【歩行時間:4時間40分】

～地形図に記載されていない登山道をたどります～ ☆地図読み山行

◆12月9日(日): 例会山行1

◆大峰の山《大天井ヶ岳》(L: 多賀 / 緊急連絡先:)

【集合】06:30 上牧町役場前駐車場

【コース】洞川～龍泉寺～大原山～岩屋峰～大天井ヶ岳～五番関～毛又橋～洞川

【歩行距離:約12km・標高差:約600m】

【帰着予定】18:00頃 ※帰路入浴予定

～琵琶湖の展望を楽しみながら北小松から釈迦ヶ岳へ～

◆12月16日(日): 例会山行2

◆比良の山《釈迦ヶ岳》(L: 藤井 / 緊急連絡先:)

【集合】JR王寺 7:04 大阪行に乗車→北小松 8:50 着

【コース】北小松～(40分)～楊梅の滝～(40分)～涼峠～(40分)～ヤケ山～(1時間15分)
～ヤケオ山～(40分)～釈迦ヶ岳～(1時間35分)～イン谷口～(35分)～比良駅

【歩行時間6時間】

西大和山の会 カレンダー

12 月		2013 年 1 月	
1 土		1 火	
2 日	例会山行 高畑山・那須ヶ原山(田中悦)	2 水	
3 月		3 木	
4 火	県連理事会	4 金	
5 水		5 土	
6 木		6 日	例会山行 湖北乗鞍岳(三島)
7 金		7 月	
8 土		8 火	県連理事会
9 日	例会山行 大天井ヶ岳(多賀)	9 水	
10 月		10 木	
11 火		11 金	
12 水		12 土	
13 木		13 日	例会山行 湖東奥島山(勝尾)
14 金		14 月	
15 土		15 火	
16 日	例会山行 比良釈迦ヶ岳(藤井)	16 水	
17 月		17 木	
18 火		18 金	
19 水	『西大和つうしん』原稿締切	19 土	
20 木		20 日	
21 金		21 月	
22 土		22 火	
23 日	運営委員会・室内例会・忘年会	23 水	『西大和つうしん』原稿締切
24 月		24 木	
25 火		25 金	
26 水		26 土	
27 木		27 日	例会山行 金剛山～紀見峠(辻)
28 金		28 月	
29 土		29 火	
30 日		30 水	室内例会
31 月		31 木	

山行・行事等参加メモ

50音順		11/28 室内 例会	12/2 高畑山 那須ヶ 原山※	12/9 大天井 ヶ岳	12/16 比良 釈迦ヶ 岳	12/23 忘年 会			
1	石田								
2	今井		○						
3	内田		○						
4	勝尾		○						
5	亀高		○車						
6	窪田								
7	阪口		○						
8	島崎		○車						
9	杉川		○車						
10	杉村		○						
11	多賀		○						
12	高田		×						
13	高橋		○						
14	田中悦		L 車						
15	田中初		○						
16	玉越		○						
17	塚本								
18	辻								
19	都築		×	緊					
20	橋本		○						
21	林		○						
22	藤井								
23	藤本		×						
24	松浪		×						
25	的場		○						
26	三島								
27	村田		○						
	合計								

※12/2 高畑山・那須ヶ原山参加者データは 10/31 室内例会時のもの

自主山行

鈴鹿の山 《仙ヶ岳》

【日 程】2012年11月4日（日） 晴れ

【参加者】L 島崎・S L 多賀・林・藤井・高橋・内田・坂口・今井・亀高
（9名）

【コースタイム】上牧役場P(7:00)＝大堰堤 P(9:00/10)～登山口(9:45)～南尾
根分岐(9:53)～不動明王(10:38/45)～尾根筋到達(11:00)～仙の石・
東峰(12:00)～仙ヶ岳西峰 961m(12:15/50 昼食)～白谷道分岐
(12:57)～御所谷分岐(14:05/13)～営林署小屋跡(14:50)～大堰堤
P(15:25)

車は石水溪手前、はるか見上げる第二名神道の高い高架下から林道方向へ。茶畑を抜け未舗装となった穴ボコだらけの路面をスタックしないよう注意深く進み、大堰堤付近の駐車スペースに到着。意外にもかなりの先着の車が駐車していた。登山準備中にも後続の車がスタックし、後を押しして救出する場面も。

駐車場所からさらに林道を30分余り歩き、登山口から南尾根コースを登る。最初は尾根コースとは名ばかりの大きな岩が露出した涸れた沢のような谷筋を2時間近く急登。尾根筋に到達後は、一転快晴の日差しに輝く岩のピークを何度かアップダウン。振り返ると山の中腹と中腹を穿ったトンネル間をつないで延びる第二名神の高くそびえた高架道路を上から見下ろせる。

ジャスト正午に到着した仙の岩、東峰付近からも南方向に高架道路が良く見渡せ、既に先着した多くの登山者でにぎわっていたため、ここは素通り。15分程度で仙ヶ岳最高峰の西峰に到着、昼食となる。ここからは、北方向に好天にくっきりと御在所岳や鎌ヶ岳がよく見渡せる。

帰路の白谷道は、下るにつれ涸れ沢、谷川、小川・・・と水量と川幅が増す谷筋。登山道は、右岸から左岸へ、またその逆へと頻りに渡っており、そのたびに飛び石で谷川を渡る。一度 F さんが川にはまり、ヒヤリとする場面もあった。

かなり下って川幅が広がったあたりのこと、川に沿って高いところを通る登山道から河原に降りる2本の梯子が並んで掛かっていた。登山道が河原に落ちて途絶えており、登山道から急な崖をアルミ梯子で河原に降りて登って登山道に復帰するための梯子であった。不安定でグラグラする梯子をヒヤヒヤしながら下りて、また登りました。

好天にも恵まれて紅葉も美しく、このような変化に富んだ周回コースで、楽しい山行でした。なお、帰路の林道は危険箇所を土嚢で補修したり、車高が沈まないよう歩いて頂いたりで、皆さんのおかげで、何とか乗り切ることができました。

(亀高 茂)



自主山行
(ハイク・リーダー学校OB会山行)

台高の山 《高見山北尾根》

【日程】2012年11月23日(金・祝) 曇一時雨

【参加者】L 藤本・西岡(奈良HC)・Adviser 中武(奈良労山)(3名)

【コースタイム】東吉野村平野・平野菅原林道入口(9:06)～沢二俣分岐(南の沢へ)(9:20/24)～枝沢三俣分岐(一番南の沢へ)(10:02/36)～小滝(南斜面へ登る)(10:55)～?尾根上(現在地確認)(11:31/12:03)～高見山北主稜線出合(12:22)～▲黒石山915m(12:31/56)～(間違っ支稜線に入る)(13:04/22)～差杉峠(14:00/04)～県道出合(14:57)～林道入口(出発点)(15:17)

9月の県連搜索訓練と同じフィールドにて、ルート・ファインディングの実践トレーニング。心配された雨も早朝に上がり、ますますのツゲイヨソ。榛原駅前の交番に計画書を出し、西岡氏の車で出発。投石ノ滝のある滝野の集落から車で県道を南下すること数分、予定の入山口に着く。9月には奈良労山のグループが沢筋から搜索に向かった入口だ。ここで早速、「なぜここが入山口と確定できるのか?」とアドヴァイザの中武氏。訓練はもう始まっている。「県道の橋の手前に左へ入る林道、という関係が地図と一致する。」と私。お決まりの問答が始まる:(N)「他にも同じような関係の場所がありうる。それでは確実にここだという理由にならない。」-(F)「川の曲がり具合、道路の横の切通しを示す記号、先ほど一つ手前の橋のところにも別の谷への入口があったこと、全て地図と一致している・・・」-(N)「その谷筋の方角は?」-(F)「東西方向だったはず・・・」-(N)「確かめに行ってください!」

車で走ってきた県道を数百メートルもどって、川の曲がり具合、兩岸の尾根と谷の関係、各々の方角など全て確認してようやく「確かにこの場所と言えます」との承認をいただく。

入山後も万事この調子で、事あるごとに現在地の確認とその根拠付けを求められる。そんな質問攻めにもそろそろ慣れてきたころ、沢を詰めていた私

たちの目の前に小さいながらも滝が現れた。両側は切り立った岩場だ。高巻くほかない。右側は 45° を越えると思われる急斜面で、滝の上はかなりの高度がある。一方、左側はそれほど高く登らずとも滝を越えられそうだ。しかもこちらには踏み跡のようなものが見える。「左の方がよさそうですね」と進み始める私に「待った」がかかる。私が左を選ぶ理由を答えると、「それでは何の説得力もない。それにあの踏み跡はけもの道かもしれませんよ。」と切り捨てられた。今度は同行の西岡氏が答える：「右急斜面の上は明るいので、尾根だと思われる。地図上でも右上は尾根なので、こちらの方が確実だと思う。」—— 一時的な容易さではなく、最終的な安全性・確実性を選んだ西岡氏の判断が正解。もっともこの急斜面は直登できず、雨のあとでぬかるむ土に足場を穿ちながら、ジグザグのトラバースを余儀なくされた（私がもっとも苦手なパターン）。怖かった！これがいやで、ほとんど反射的に左のコースを選んでいただけだ！的確な判断には、当然技術の裏付けも必要だということか）。

さてさて、やっと尾根まで這い上がったものの、がむしゃらに進んだため、現在地がわからない。希望的観測で「ここのはず」と推定した位置は見事「はずれ」で、再度確認のため、あっちの尾根筋、こっちの尾根筋と走りまわる。コースと地図だけを頼りに、数回の推定と修正をへて、何とか高見山の主稜線にたどりついたころには、すでに正午を過ぎていた。しばらく北へ進み、9月にわが会のグループが「遭難者」を見つけたポイントを経て、黒石山に到着。あの時と同様にここで昼食となった。真昼というのに霧雨とガスでもう夕方のように薄暗い。下りは別の支稜線でルート・ファインディングの後半戦を行う予定だったが、予定変更。主稜線を辿り、差杉峠から下る一般ルートをとることに。ところが・・・知ってるルートだからと、世間話にうつつをぬかしている間にまたまたうかつにも分岐を見過ごし、北上しているつもりが、いつの間にか西進していた。ふたたび引返して、地形から分岐を確認、正しいルートに戻る。実はこの場所、9月には、県連救助隊長が事前に設置していたテープのおかげで無事通過できたのであった。

距離にして 12km 程度の行程を 6 時間かかって一周したその間に、多くを間違え、またそれだけ多くを学び、まことに充実した山行であった。ともに学んだ西岡氏、そしていつもながら、辛口なれど的確に導いてくださる中武氏に心から感謝したい。

（藤本 武司）

室内例会だより

【日 時】2012年10月31日(水) 19:30~21:00 事務所

【出席者】島崎、林、杉村、内田、藤本、村田、多賀、田中(悦)、田中(初)、勝尾、高橋、的場、杉川、阪口、今井、橋本、高田、玉越、亀高、松浪、都築

1. 山行案内

11月 4日(日)	自主山行	鈴鹿の山(仙ガ岳)	L 島崎
11月11日(日)	例会山行1	丹波の山(白髭岳~松尾山)	L 田中(初)
11月18日(日)	公開山行	奈良中部(山の辺の道・三輪山)	L 林
11月25日(日)	例会山行1	大峰の山(行者還岳)	L 村田
12月 2日(日)	例会山行1	鈴鹿の山(高畑山~那須ヶ原山)	L 田中(悦)

2. 山行報告

9月22日(土)~23日(日)				
	例会山行1	但馬の山(鉢伏山・氷ノ山)	L 多賀	13名
10月 7日(日)	例会山行2	大峰の山(笠捨山)	L 内田	8名
10月12日(金)~15日(月)				
	例会山行1	東北の山(栗駒山・蔵王連峰)	L 島崎	5名
10月21日(日)	例会山行1	大峰の山(大普賢岳)	L 藤本	10名

3. 連絡その他

・県連より報告

近畿ブロック女性委員交流会 11月3日(土)~4日(日) 金剛山
西大和は参加者なし

「新特別基金」実務講習会 11月10日 此花会館 島崎会長、都築参加

第16回全国登山者自然保護集会 11月17日~18日 高槻現代劇場

春日山(原始林)自然観察会 12月2日 春日大社表参道バス停午前9時集合

県連交流山行は中止となったが各会に意見を聞いたところ、魅力のある山なら参加しても良いといった意見が多かった。

- ・会長より、来年の夏山山行の希望を聞きたいので、11月中に場所と日程等をメールで送るよう要請がありました。
- ・緊急連絡体制の確認(会長より以前配布した緊急連絡体制表をメールで送付するので各自で再確認しておくように指示がありました。)
- ・武本奈津枝さんが都合により退会されました。

(都築 周作)

第366号（2012年12月号）

西大和つうしん

2012年11月28日発行

発行責任者 島崎 隆

編集責任者 藤本武司

<http://www.nishiyamatoyama.org/>